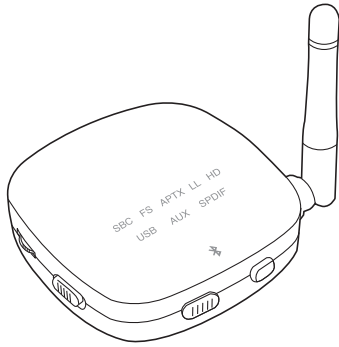


Bluetoothオーディオトランスミッター&レシーバー 取扱説明書



- apt-X対応
- apt-X Low Latency 対応
- apt-X HD対応
- FastStream対応

この度は、Bluetoothオーディオトランスミッター&レシーバー「400-BTAD008」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ① Bluetoothオーディオトランスミッター&レシーバー 1台
 - ② 給電用microUSBケーブル 1本
 - ③ アナログ変換ケーブル 1本 ⑤ 3.5mmオーディオケーブル 1本
 - ④ 光デジタルケーブル 1本 ⑥ 取扱説明書・保証書(本書) 1部
- ※欠品や破損があった場合は、品番(400-BTAD008)と上記の番号(①~⑥)と名称(光デジタルケーブルなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にご使用いただくために

- 自転車やバイク、自動車などの運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因になります。運転以外にも、踏切や駅のホーム、道路、工事現場など周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
- 歩行中に使用する場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故の原因になります。
- 使用する前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なう恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対におやめください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 濡れた手で給電したり、給電ポートに触れたりしないでください。感電の原因になります。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

⚠ 注意

- ⚠ 初めから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。
- ⚠ 使用後は必ず電源をOFFにしてください。または、接続を切断してください。音楽再生をしていない場合でも、接続中であれば電力を消費します。

使用上の注意

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。
- 本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の放射を停止してください。

■ 良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が届かなくなることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波干渉を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

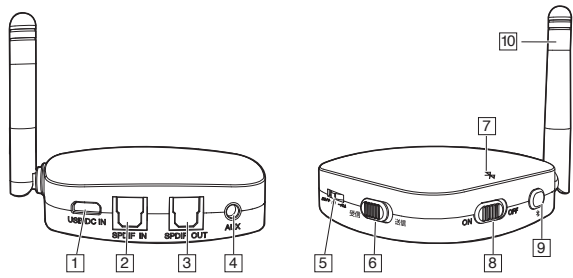
1. 特長

- 切替えスイッチで、Bluetoothの受信用と送信用の両方に使用可能です。
- 受信機モードに切替えれば、Bluetoothに対応していないイヤホンやヘッドホンをつないで、Bluetooth対応のスマートフォンや携帯オーディオプレイヤーなどと接続できます。
- 送信機モードに切替えれば、Bluetoothに対応していない携帯オーディオプレイヤーやテレビをつないで、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドセットなどと接続できます。 ※通話はできません。
- 受信機モードや送信機モードはワンタッチで簡単切替えできます。
- 音量操作ボタン搭載で、受信機モードの時に音量操作ができます。
- マルチポイント機能搭載で、送信機モードの時に2台のBluetooth機器に同時に音声を飛ばすことができます。 ※同時接続した場合は、SBC接続になります。
- 一般的な3.5mmイヤホンジャックを採用しているため、通常使用しているイヤホンなどがそのまま使用できます。
- 高音質で遅延が少ないapt-X Low Latencyコーデック対応です。(apt-X Low Latency対応機器との組合せでお使いいただけます。) ※apt-Xは、対応機種の使用に限ります。apt-X非対応の場合、SBCコーデックになります。
- SBCコーデックとapt-Xコーデックの切替えは、本製品ではできません。
- 本製品を送信用と受信用として2台使用すれば、簡単にBluetoothのワイヤレス環境を構築できます。
- ポケットに入れて持ち運べる手のひらサイズで、重量は軽量で約46gです。

⚠ apt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDはSCMS-Tに対応していません。スマートフォンのワンセグなど、一部アプリケーションでは使用できませんのでご注意ください。

2.各部の名称とはたらき

①Bluetoothオーディオトランスミッター&レシーバー



1	microUSBポート	microUSBケーブルを接続するポート。USB給電や、USB出力などができます。
2	SPDIF(光デジタルポート)入力	光デジタルケーブルを接続するポート(入力)
3	SPDIF(光デジタルポート)出力	光デジタルケーブルを接続するポート(出力)
4	AUX(3.5mmジャック)	3.5mmケーブルを接続するジャック。
5	MFBスイッチ	ボリューム調節や接続方式の切替え、コーデック切替えをします。
6	送信・受信モードスイッチ	送信機モードと受信機モードを切替えます。
7	LED SBC FS APTX LL HD USB AUX SPDIF	操作によって、LEDが点灯します。 接続するコーデックを示すLED。 FSは「FastStream」、LLは「apt-X Low Latency」、HDは「apt-X HD」のことを示します。 接続するケーブル・コネクタを示すLED。
8	電源スイッチ	電源をON-OFFします。
9	ペアリングボタン	ペアリングモードにします。
10	外付けアンテナ	外付けのアンテナです。

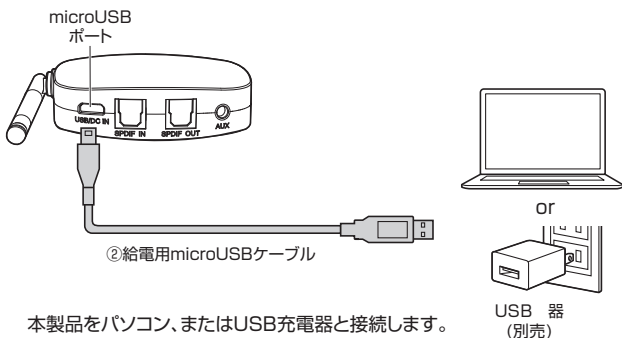
デバイス名	400-BTAD008
パスキー	0000(ゼロ4つ)、1111、8888、1234 ※受信機(レシーバー)でのご使用の場合、ペアリング時にパスキーを求められた場合は、「0000(ゼロ4つ)」を入力してください。

3.給電方法

本製品は、給電する必要があります。下記の通り、給電を行ってください。

❗ 必ず付属のmicroUSBケーブルで給電してください。

①Bluetoothオーディオトランスミッター&レシーバー



本製品をパソコン、またはUSB充電器と接続します。

4.初期化方法

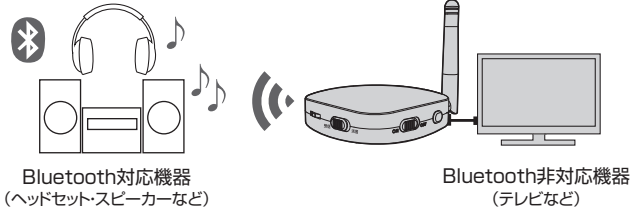


電源ONの状態、ペアリングボタンを全てのLEDが点灯するまで長押しします。

5.動作一覧

- この製品は、受信機と送信機の2通りのご使用が可能です。電源を入れる前に、切替えスイッチで切替えてください。
- 受信機、送信機の機能を入れ替える際は、電源をOFFにして約3秒待ち、切替えスイッチで切替えをして約3秒待ってから電源を入れてください。
※切替えの動作が早すぎるとうまく切替えができない場合があります。
- 送信機で2台同時接続を行う際は、接続のコーデックが2台ともSBC接続になります。

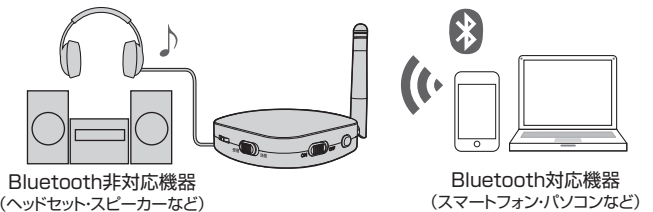
■送信機モード



状態	操作	LED
電源ON	電源スイッチをONにする	青色に点灯
電源OFF	電源スイッチをOFFにする	赤色に点滅後消灯
ペアリングモード	電源ONの状態からペアリングボタンを2回押す	青赤交互点滅
スタンバイ(接続時)		青色に点灯
スタンバイ(未接続)		1秒ごとに青色に1回点滅
HDモードにする	MFBスイッチを+側に2秒押す	
LLモードにする	MFBスイッチを-側に2秒押す	
接続モードの切替え	MFBスイッチを押す	

- ゲームをする際、テレビと接続する際は、LLモードを選んでください。
- LL/HDモードにする際は、受信側のヘッドホンもしくはスピーカーがapt-X Low Latency/apt-X HDに対応している必要があります。

■受信機モード

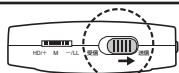


状態	操作	LED
電源ON	電源スイッチをONにする	青色に点灯
電源OFF	電源スイッチをOFFにする	赤色に点滅後消灯
ペアリングモード	電源ONの状態からペアリングボタンを2回押す	青赤交互点滅
音量を上げる	MFBスイッチを+側に押して調節	
音量を下げる	MFBスイッチを-側に押して調節	
音楽再生・停止	MFBスイッチを1回押す	
曲戻し	MFBスイッチを-側に2秒押す	
曲送り	MFBスイッチを+側に2秒押す	
スタンバイ(接続時)		青色に点灯
スタンバイ(未接続)		3秒ごとに青色に2回点滅
接続モードの切替え	MFBスイッチを押す	

6. 機器との接続(ペアリング方法について)

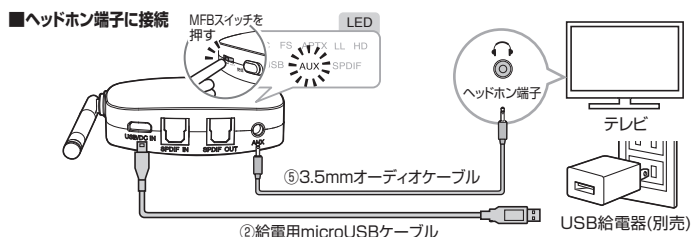
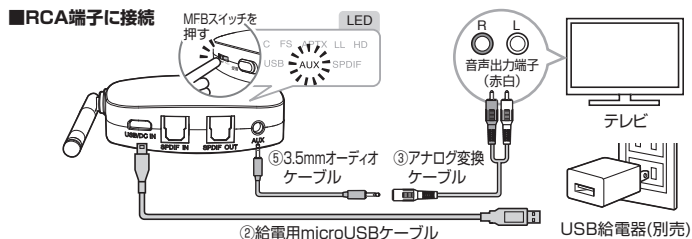
送信モード Bluetooth対応機器に音声を送信する

テレビやオーディオ機器の音声を、Bluetooth対応のヘッドホンやスピーカーへ送信。

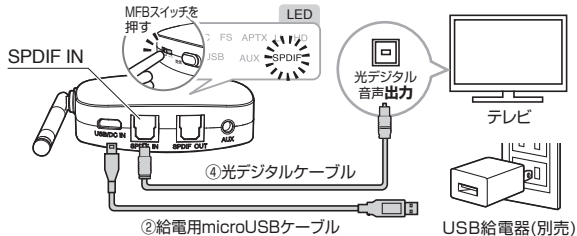


送信・受信モードスイッチを「送信」にします。

3.5mmオーディオケーブル接続 …MFBスイッチを押して、LED表示を「AUX」にする

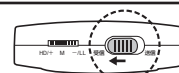


光デジタルケーブル接続 …MFBスイッチを押して、LED表示を「SPDIF」にする



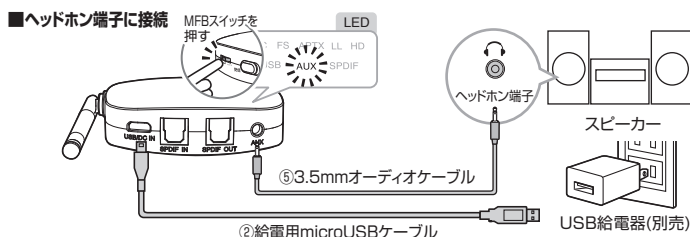
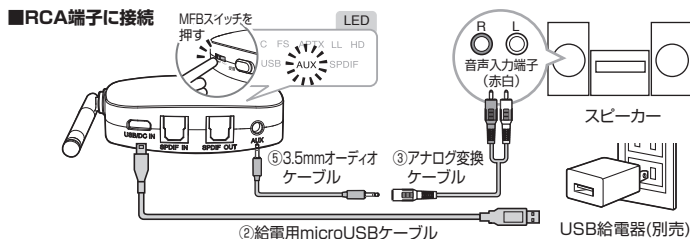
受信モード Bluetooth対応機器から音楽を受信する

Bluetooth対応のスマートフォンやパソコンから音楽を受信し、接続したイヤホンやスピーカーで再生します。

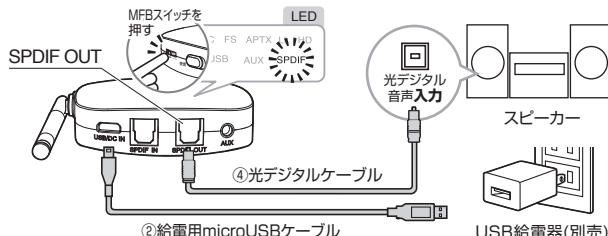


送信・受信モードスイッチを「受信」にします。

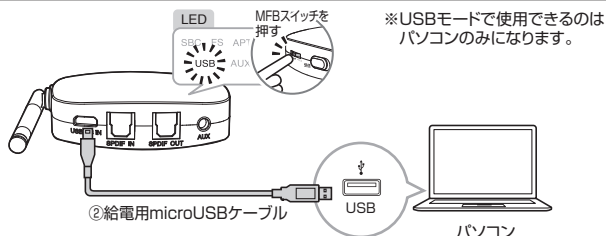
3.5mmオーディオケーブル接続 …MFBスイッチを押して、LED表示を「AUX」にする



光デジタルケーブル接続 …MFBスイッチを押して、LED表示を「SPDIF」にする



USBケーブル接続※ …MFBスイッチを押して、LED表示を「USB」にする



- 1 本製品の送信・受信モードスイッチを「送信」にします。
- 2 本製品の電源を入れると自動でペアリングモードになります。
※本製品のLEDは青色に素早く点滅します。
ペアリングモードにならない場合は、ペアリングボタンを2回押してください。
- 3 Bluetooth対応のヘッドセットやスピーカーをペアリングモードにします。
- 4 数秒後ペアリングが成功すると本製品のLEDが青点灯に変わります。
MFBスイッチで接続コーデックを切替え、「APT-X」「LL」「HD」にします。
※LLは「apt-X Low Latency」、HDは「apt-X HD」のことを示します。

これで設定完了です

！ テレビと接続する場合は、低遅延の「apt-X Low Latency」を推奨しています。

本製品を2台使用して音声を送受信する

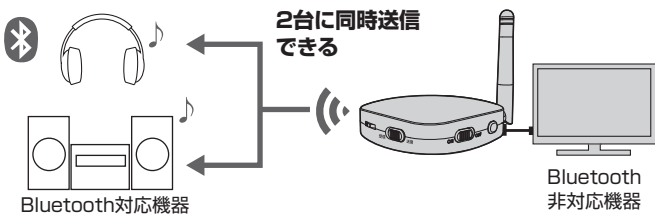
本製品を送信用と受信用として2台使えば、Bluetooth非対応の機器同士でも簡単にBluetoothワイヤレス環境を構築できます。



- 1 本製品の送信・受信モードスイッチを1台を「受信」、もう1台を「送信」にします。
- 2 本製品の電源を入れると自動でペアリングモードになります。ペアリングモードにならない場合は、ペアリングボタンを2回押してください。
- 3 本製品のLEDが青色の点灯になるとペアリング成功です。 **これで設定完了です**

7. 本製品の2台同時接続について(マルチポイントの方法)

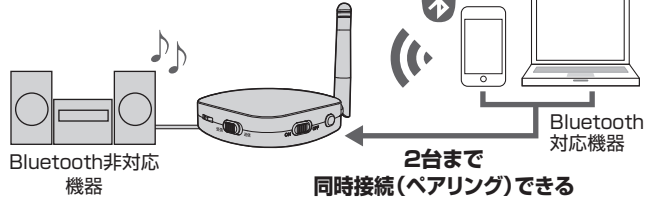
■ 送信機モード



※本製品の送信・受信モードスイッチを「送信」にします。

- ①お使いのBluetooth機器(1台目)と本製品をペアリングモードにします。
※本製品のLEDは青赤交互点滅します。
ペアリングが成功すると、本製品のLEDが青色の点灯に変わります。
- ②2台目のBluetooth機器と本製品をペアリングモードにします。
※本製品のLEDは青赤交互点滅します。
ペアリングが成功すると、本製品のLEDが紫色の点灯に変わります。
- ③2台の機器で音声が入ります。
※接続した時に、ノイズのようなものが聞こえる場合がありますが、一時的なものです。音楽再生時には聞こえなくなります。
※接続時のコーデックはどちらもSBCになります。
※2台目のペアリングには、時間がかかる場合があります。

■ 受信機モード



※本製品の送信・受信モードスイッチを「受信」にします。

- ①お使いのスマートフォン(1台目)と本製品をペアリングします。
※本製品のLEDは青赤交互点滅になります。
ペアリングが成功すると本製品のLEDが青色の点灯に変わります。
- ②本製品のペアリングボタンを2回押してペアリングモードにします。
(本製品のLEDは青赤交互点滅になります)
2台目のスマートフォンと本製品をペアリングします。
ペアリングが成功すると、本製品のLEDが紫色の点灯に変わります。
- ③1台目のスマートフォンで400-BTAD008を選択します。
1台目のスマートフォンと本製品が接続されれば設定完了です。

8. 各機器との接続について

一度ペアリングすると、Bluetooth機器の電源をOFFにしても設定が残ります。再度電源をONにすると、最後に接続されていた機器と自動的に接続され使用できます。使用できない場合は、ペアリングボタンを押すか、接続または再度ペアリングを行ないます。

9. 初期化について

Bluetooth機器とペアリングした状態で、ペアリングボタンを長押しします。SBCなどのLEDが全て点灯し、初期化が行われます。

10. apt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDについて

- 本製品はapt-X/apt-X Low Latency/apt-X HD対応です。相手側がapt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDに対応していない、もしくは利用できない状態の場合には、apt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDを利用した接続にならないことがあります。
 - apt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDは接続する機器や環境などにより、遅延低減や音質向上の効果が変わる場合があります。
 - apt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDはSCMS-Tに対応していません。そのため、スマートフォンなどのワンセグなどの一部アプリケーションでBluetoothによるメディアの音声が再生できない場合があります。その場合は、スマートフォン側でapt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDを「利用しない」に設定を変更し、再度本製品と接続してください。
- ※お使いのデバイスがapt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDに対応しているかどうかをご確認ください。

11. よくある質問

Q. 接続やペアリングが突然できなくなった。

- A. 本製品と相手機器の電源を両方とも一度切ってから、再度接続やペアリングを行ってください。

Q. 本製品に接続したイヤホンから音が聞こえません。(パソコンの場合)

- A. 1「スタート」→「コントロールパネル」→「サウンドとオーディオデバイス」を開きます。
2「オーディオ」タブを選択し、「音の再生」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。
3「音声」タブを選択し、「音の再生」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。

Q. 機器間の通信距離は?

- A. 100m(理論値)までです。間にコンクリート壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。

Q. 他のBluetooth使用者によって通信内容を傍受されますか?

- A. いいえ。ペアリングによって通信が保護されます。

Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか?

- A. いいえ。基本的には初回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、機器によっては再度ペアリングを行ってください。
※送信・受信を切替えると初期化されるので、その際は再度ペアリングを行ってください。

Q. 接続したヘッドホンから雑音が入ります。

- A. 通信範囲を超えたり、壁や人間の身体(接触した状態)などを挟むと雑音が入ります。

12.仕様

適合規格	Bluetooth5.0(Class 1)※1
伝送方式	GFSK
周波数範囲	2.4~2.48GHz
通信距離	最大約100m ※使用環境によって異なります。
サイズ・重量	約W85×D77×H20mm約46g
対応プロファイル	A2DP(オーディオ)、AVRCP(リモートコントロール)※2 ※2:受信時のみ対応です。
対応コーデック	SBC、apt-X、apt-X Low Latency、apt-X HD、FastStream※3
マルチポイント	対応
SCMS-T	非対応
付属品	給電用microUSBケーブル、アナログ変換ケーブル 光デジタルケーブル、3.5mmオーディオケーブル

- ※1:Bluetooth Ver 4.2/4.1/4.0/3.0/2.0/1.2対応機器との接続も可能です。
※3:apt-X/apt-X Low Latency/apt-X HD対応機器と接続しないとapt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDでの接続はできません。
※apt-X/apt-X Low Latency/apt-X HDはSCMS-Tに対応していません。スマートフォンのワンセグなど一部アプリケーションでは使用できませんのでご注意ください。

13.保証規定

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障があった場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書の本製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じて弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社
型番: 400-BTAD008	シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL		
販売店名・住所・TEL		
担当者名	保証期間 6ヶ月	お買い上げ年月日 年 月 日

サンワサプライ株式会社

ver.1.2